

令和 2 年 7 月 20 日

環境経済委員会

産業部 産業振興課

内閣府「スタートアップ・エコシステム グローバル拠点都市」の認定について

浜松及び愛知・名古屋地域における経済の持続的な成長のため、浜松市では、愛知県や名古屋市等と連携し、内閣府が募集した「スタートアップ・エコシステム拠点都市」に対し、拠点形成計画を提出しました。

去る7月14日、内閣府から浜松及び愛知・名古屋地域が「スタートアップ・エコシステム グローバル拠点都市」として認定されましたのでお知らせします。

1 「スタートアップ・エコシステム 拠点都市」の概要 ※公募の概要は別紙1を参照

内閣府が、我が国の強みである優れた人材、研究開発力、企業活動、資金等を生かした世界に伍する日本型のスタートアップ・エコシステム拠点の形成を目指し、地方自治体、大学、民間組織等が策定した拠点都市計画を認定するもの。

2 浜松及び愛知・名古屋地域の拠点形成計画について

(1) 計画主体

- ①名 称: Central Japan Startup Ecosystem Consortium
- ②構 成: 浜松市スタートアップ戦略推進協議会
Aichi-Nagoya Startup Ecosystem Consortium

並列連携型

- ③代 表 者: 一般社団法人中部経済連合会
会長 水野 明久(みずの あきひさ)※申請時は豊田 鐵郎 会長
- ④構成組織: 浜松市のほか、一般社団法人中部経済連合会、名古屋大学、
愛知県、名古屋市(事務局)など172企業・団体・大学等

(2) 提出した形成計画の概要

別紙2を参照

3 認定後の国等の支援について

スタートアップ・エコシステム グローバル拠点都市に認定されたことにより、政府や民間サポーターから、以下の支援が行われます。

- ランドマークプログラム(アクセラレーションプログラム)の実施
- 世界への情報発信、起業家・投資家の招致の支援
- 政府のスタートアップ支援の積極的な実施
- 規制緩和の推進
- 民間サポーターによる支援

内閣府スタートアップ・エコシステム拠点都市の公募概要について <R2.1.28>

1 募集内容

産官学連携により、スタートアップ支援に取り組んでいる都市を政府が指定。起業家教育やアクセラレータ機能の強化等を通じて、我が国において世界に伍するベンチャーエコシステム拠点の形成を支援する。

なお、拠点は「グローバル拠点都市(2～3か所指定)」と「推進拠点都市(数か所指定)」の2種類で、合わせて10か所程度を指定する。

2 応募要件

地方自治体、大学、民間組織等を含むコンソーシアム等の団体であること



3 支援内容

拠点都市に選定された都市に対する支援内容と、国の支援関連予算は、以下のとおり。

(1) グローバル拠点都市に対する支援

- ・ランドマークプログラム(アクセラレーションプログラム)の実施
- ・世界への情報発信、起業家・投資家の招致の支援
- ・政府のスタートアップ支援の積極的な実施
- ・規制緩和の推進
- ・民間サポーターによる支援

(2) 推進拠点都市に対する支援

- ・世界への情報発信、起業家・投資家の招致の支援
- ・政府のスタートアップ支援の積極的な実施
- ・民間サポーターによる支援

4 選定スケジュール

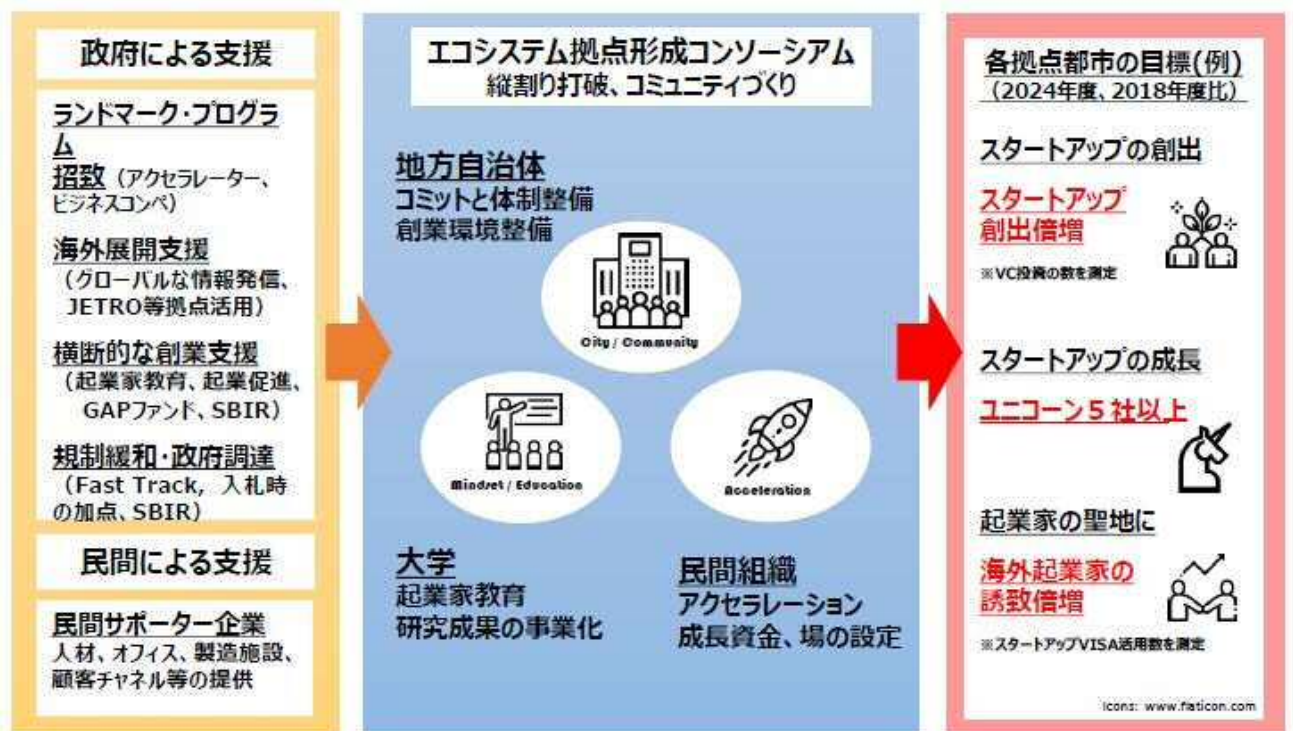
選定にかかるスケジュールは以下のとおり

応募書類の公開(公募開始)	令和2年1月28日(火)
応募書類の提出(公募締切)	令和2年2月17日(月)

5 審査のポイント

- ・計画(将来像と具体的な取組)の内容及び都市の潜在力(客観的データ)の両面で審査。
- ・審査における重点項目は、次の7点。
 - ①拠点形成計画の将来像と目標が明確であり、組織体制と取組内容が具体的に世界に伍するスタートアップ・エコシステム拠点として実現可能性が高いこと
 - ②拠点都市の顔となり、行動するリーダーとチームが明確であること
 - ③世界の起業家・投資家等の呼び込みや連携が期待できること
 - ④スタートアップの活動が活発であること
 - ⑤スタートアップ支援者の活動が活発であること
 - ⑥人材育成・教育の活動が活発であること
 - ⑦都市の集積が発達していること

《制度のイメージ図》



Central Japan Startup Ecosystem Consortium 拠点形成計画の概要について

1 連携の目的

日本を代表する世界的な製造業の集積地として、日本経済を牽引する「浜松」と「愛知・名古屋」の2つのコンソーシアムが、「Central Japan Startup Ecosystem Consortium」を形成。

両地域が、共通の基盤である産業基盤と地域間の密接なつながりを活かし、共通のビジョンをもって、革新的なイノベーションとスタートアップの創出、シナジー効果の発揮に一体的に取り組む、世界に伍するグローバルなスタートアップエコシステムを形成する。

2 期待されるシナジー効果

- コミュニティ間の繋がり・相互参加、ソフトの共有等による対流・交流の促進(参加者の多様化・熱量の高まり)
- 自動車を始め共通の産業基盤での連携・連合の拡がり・深化と、工作機械・ロボット、新素材、光(フォトン)、農林水産業等、各地域・大学の先端技術・先進的な取組を活かしたオープンイノベーション・異分野融合の進展
- ブランド力・知名度の向上による域外・海外の人材・投資の呼び込み
- 行政間の取組・課題・知恵の共有による打ち手のブラッシュアップと迅速化
- 本連合をきっかけとする愛知・名古屋をハブとした中部圏全体の都市間・拠点間連携の進展・具体化

3 今後の取り組み

(1)各拠点におけるスタートアップ支援施設の連携

「なごのキャンパス」「INNOVATOR'S GARAGE」「ステーション Ai」「FUSE」「はままつトライアルオフィス」など、各拠点のスタートアップ支援施設において、イベント募集の相互協力、利用者に対する各施設の紹介、通信回線をつないだ複数施設におけるイベントの同時開催、連携によるアクセラレーションの実施など、相互連携によるスタートアップ支援に取り組む

(2)地域企業とスタートアップのマッチング支援

各拠点のピッチイベントやマッチングイベントにおいて、お互いのスタートアップ、中小企業、大企業などが参加し合うことで、スケールメリットを生かした多種多様なオープンイノベーションの場づくりに取り組む。

(3)グローバル化への対応

各拠点で活躍するスタートアップの海外展開や海外スタートアップ企業の誘致・集積について連携による支援に取り組む。

4 各拠点(浜松および愛知・名古屋)の計画概要

別紙3、別紙4 のとおり



※浜松市スタートアップ戦略推進協議会 浜松市スタートアップ戦略

ビジョン

スタートアップのアイデアと、ものづくり技術を融合させ、次々と革新的なイノベーションを生み出すことで、地域経済の持続的発展につなげていく。
将来的には、このエコシステムを通じて、世界中のスタートアップのビジネスの成長を加速させ、我が国における「ものづくりスタートアップの拠点」としての役割を担うことで、日本経済の発展に寄与する。

構成機関	戦略	KPI
静岡大学	戦略1 スタートアップの創出 <ul style="list-style-type: none"> ■ 起業を後押しする環境の整備 ■ 大学や研究機関の研究シーズの事業化 ■アントレプレナーシップ教育の強化 戦略2 スタートアップの経営力強化 <ul style="list-style-type: none"> ■ 経営に必要なノウハウ等を習得できる場の提供 ■ 経営をはじめとした専門人材の獲得支援 ■ グローバル化・海外展開の支援 戦略3 資金調達環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ■ 制度融資や補助金の充実 ■ スタートアップへの投資の促進 ■ 新たな資金提供者の創出 戦略4 オープンイノベーションの推進 <ul style="list-style-type: none"> ■ スタートアップとのマッチングの場の創出 ■ 拠点、ネットワークの活性化(イベント強化など) ■ 積極的なスタートアップとの連携や先端技術の活用 ■ 試作等の支援 戦略5 スタートアップの誘致 <ul style="list-style-type: none"> ■ 情報発信力の強化 ■ 本市進出の機会づくり ■ 本市に進出するスタートアップがビジネスしやすい環境の整備 戦略6 スタートアップ支援力の強化 <ul style="list-style-type: none"> ■ 支援者のスキル強化 ■ 支援機関の誘致 	創業数
浜松医科大学		10→ 30 社/年
光産業創成大学院大学		イベント開催数
静岡銀行		102→ 300 回/年
浜松磐田信用金庫		ファンド調達額
浜松商工会議所		11→ 30 億円/年
浜松地域イノベーション推進機構	企業等との連携数	
JETRO浜松	25→ 75 件/年	
ヤマハ(株)	市外からの進出数	
スズキ(株)	4→ 12 社/年	
浜松ホトニクス(株)		
(株)ソミックマネージメントホールディングス		
リンクウイズ(株)		
(株)ブルックマンテクノロジー		
浜松市		

1. エコシステム形成の目標と取組指針

目標

自動車産業の構造変化やデジタル革命の急速な進展を始めとした変革期を迎える中、世界的な製造業の集積地である中部圏は、既存企業の飛躍的な生産性向上と共に、新たなイノベーションエコシステム構築を進め、「日本経済を牽引する成長」、スタートアップと新産業の創出が続く新しい社会「Next Society」を実現。

※Next Society…内外から多種多様な人材が集まり、次世代技術を用い、共創しながら社会課題を解決し、まだ見ぬ新たな価値を創出していく社会

取組

スタートアップやイノベーションが創出されにくい環境を克服し、CASE、MaaSを含む産業構造の変革をチャンスに変え、この地域の強みであるものづくり産業と基礎研究の集積から生まれるディープテックを活かした、世界的に求心力のあるイノベーション、スタートアップエコシステムを、愛知・名古屋をハブとした中部圏に形成。

2. エコシステム形成に向けた4つの重要コンセプト

卓越した次世代型教育を受けた人材の輩出

大学群を中心とした起業家教育（研究者含）
デジタル教育（AI人材含）の拡充等

海外ネットワークの拡大・深化と求心力の強化

製造業の集積等を活かした拠点をハブとする海外ネットワーク形成等

ディープテックを活かした共創・オープン化による社会実装・社会課題解決

ものづくり企業等の積極的な参画・関与
拠点をハブとした域内・域外人材の対流・交流の活発化

ベンチャーファイナンスの仕組みを構築

国内VCや海外投資家とのネットワークの形成

3. エコシステム形成のための6つのKPI

- | | | | |
|----------------------------------|---------------|--|----------------------------|
| ① 起業を志す人材・イノベーション人材の輩出 | 10,000人以上/5年間 | ④ 資金調達額 | 1,000億円以上/5年間 |
| ② 様々なプレイヤー間の共創による新規事業開発件数 | 1,000件以上/5年間 | ⑤ スタートアップの起業数 | 県内200社以上/5年間 中部圏300社以上/5年間 |
| ③ 海外スタートアップ企業と当地域企業とのビジネスマッチング件数 | 400件以上/5年間 | ⑥ 100億円以上の売上規模のスタートアップ創出
企業評価額1,000億円以上企業創出 | 10社以上/5年間
5社以上/10年間 |

Central Japan Startup Ecosystem Consortium

- Aichi-Nagoya, Hamamatsu -

I 愛知・名古屋と浜松のコンソーシアムが連合する狙い・役割分担・期待されるシナジー

日本を代表する世界的な製造業の集積地として、日本経済を牽引する「愛知・名古屋」と「浜松」の2つのコンソーシアムが、「Central Japan Startup Ecosystem Consortium」を形成。両地域が、共通の基盤である産業基盤と地域間の密接なつながりを活かし、共通のビジョンをもって、革新的なイノベーションとスタートアップの創出、シナジー効果の発揮に一体的に取り組む、世界に伍するグローバルなスタートアップエコシステムを形成する。

Aichi-Nagoya Startup Ecosystem Consortium

スタートアップと新産業の創出が続く新しい社会「Next Society」の実現

Central Japan Startup Ecosystem Consortium

自動車等、共通の産業基盤の集積
(地域・企業を越えた連携の実績・素地)

浜松市スタートアップ戦略推進協議会

ものづくりスタートアップの拠点としての役割を担う「浜松バレー」の実現

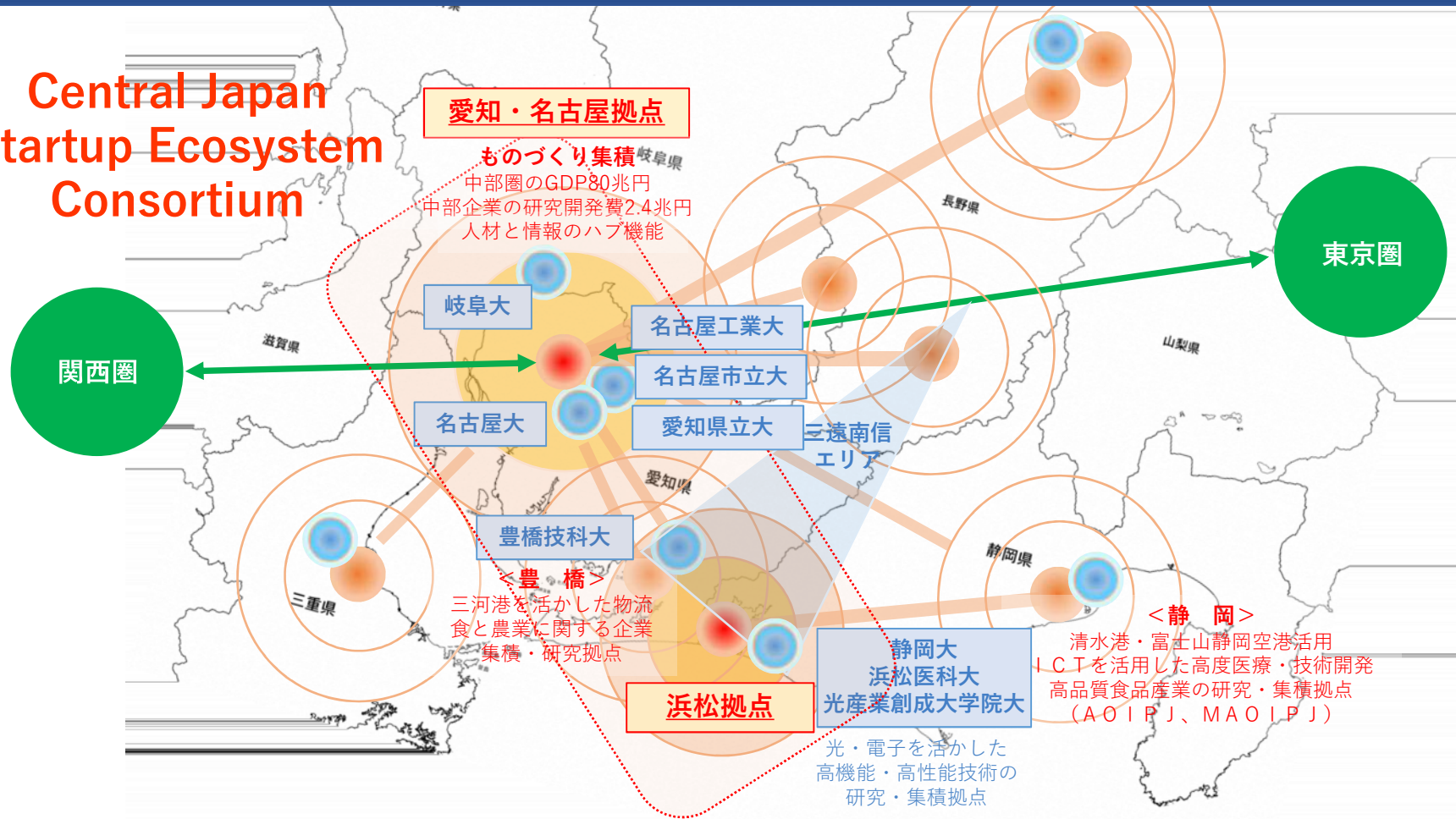
期待される
シナジー

- コミュニティ間の繋がり・相互参加、ソフトの共有等による対流・交流の促進（参加者の多様化・熱量の高まり）
- 自動車を始め共通の産業基盤での連携・連合の拡がり・深化と、工作機械・ロボット、新素材、光（フォトン）、農林水産業等、各地域・大学の先端技術・先進的な取組を活かしたオープンイノベーション・異分野融合の進展
- ブランド力・知名度の向上による域外・海外の人材・投資の呼び込み
- 行政間の取組・課題・知恵の共有による打ち手のブラッシュアップと迅速化
- 本連合をきっかけとする愛知・名古屋をハブとした中部圏全体の都市間・拠点間連携の進展・具体化

Central Japan Startup Ecosystem Consortium

- Aichi-Nagoya, Hamamatsu -

Central Japan Startup Ecosystem Consortium



II コンソーシアム間の具体的な取り組み

■各拠点におけるスタートアップ支援施設の連携

「なごのキャンパス」「INNOVATOR'S GARAGE」「ステーションA i」「FUSE」「はままつトライアルオフィス」など、各拠点のスタートアップ支援施設において、イベント募集の相互協力、利用者に対する各施設の紹介、通信回線をつないだ複数施設におけるイベントの同時開催、連携によるアクセラレーションの実施など、相互連携によるスタートアップ支援に取り組む。

■地域企業とスタートアップのマッチング支援

各拠点のピッチイベントやマッチングイベントにおいて、お互いのスタートアップ、中小企業、大企業などが参加し合うことで、スケールメリットを生かした多種多様なオープンイノベーションの場づくりに取り組む。

■グローバル化への対応

各拠点で活躍するスタートアップの海外展開や海外スタートアップ企業の誘致・集積について連携による支援に取り組む。

Beyond Limits. Unlock Our Potential.
世界に伍するスタートアップ・エコシステム拠点形成計画

コンソーシアム等の名称：浜松市スタートアップ戦略推進協議会

I. エコシステム形成推進主体について

1. エコシステム形成の目標・KPI

ビジョン

スタートアップのアイデアと、ものづくり技術を融合させ、次々と革新的なイノベーションを生み出すことで、地域経済の持続的発展につなげていく。

将来的には、このエコシステムを通じて、世界中のスタートアップのビジネスの成長を加速させ、我が国における「ものづくりスタートアップの拠点」としての役割を担うことで、日本経済の発展に寄与する。



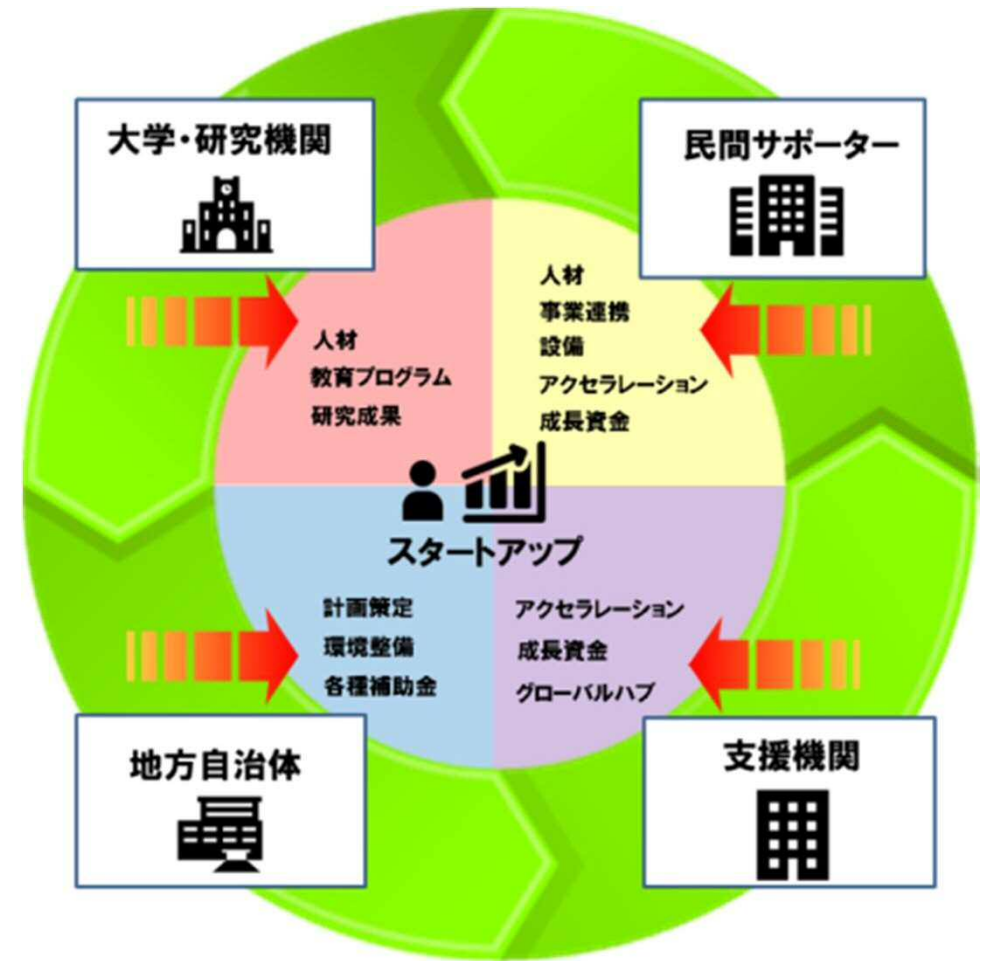
KPI R2.4~R7.3

生まれる	スタートアップの創業数
	10社/年→ 30社/年
育つ	スタートアップ・エコシステムの形成に寄与するイベントの開催数
	102回/年→ 300回/年
	市内スタートアップのファンドによる資金調達額
	11億円/年→ 30億円/年
集まる	市内スタートアップと企業・大学等との新規連携件数
	25件/年→ 75件/年
	市外からのスタートアップ進出数
	4社/年→ 12社/年

I. エコシステム形成推進主体について

2. エコシステム形成主体の構成組織と役割分担

ID	団体	区分
1	国立大学法人静岡大学	大学・研究機関
2	国立大学法人浜松医科大学	
3	学校法人光産業創成大学院大学	
4	株式会社静岡銀行	支援機関
5	浜松磐田信用金庫	
6	浜松商工会議所	
7	公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構	
8	独立行政法人 日本貿易振興機構 浜松貿易情報センター	
9	ヤマハ株式会社	民間サポーター
10	スズキ株式会社	
11	浜松ホトニクス株式会社	
12	株式会社ソミックマネジメントホールディングス	スタートアップ
13	リンクウィズ株式会社	
14	株式会社ブルックマンテクノロジー	自治体
15	浜松市	



I. エコシステム形成推進主体について

3. エコシステムの顔となるリーダー

スタートアップのイベントには必ず出席！



氏名	鈴木 康友(すずき やすとも)
生年月日	昭和32年8月23日生
所属機関・役職	浜松市長
経歴	1957年静岡県浜松市生まれ。1980年慶應義塾大学法学部を卒業後、松下政経塾に入塾(第1期生)し1985年に同塾卒業。 ステラプランニング代表取締役 を経て、2000年6月に衆議院議員に初当選(2期)。この間、経済産業委員会理事等を歴任。2007年5月浜松市長に就任(現在4期目)し、2008年マニフェスト大賞受賞。現在、三遠南信地域(愛知県東三河地域、静岡県遠州地域、長野県南信州地域)連携ビジョン推進会議(SENA)会長。2011年12月から指定都市市長会副会長。

起業経験あり

Ⅱ. 地方自治体の取組

1. 首長の方針

「浜松バレー」構想の実現

創業環境を整備し、ベンチャーの成長に必要なきめ細かな支援を展開することでベンチャー企業が集積する「浜松バレー」の実現を推進します。

浜松市長マニフェスト（4期）～鈴木やすとも やります！～から抜粋



Ⅱ. 地方自治体の取組

2. スタートアップ支援

(1) 総予算額

582,194千円 令和2年度 当初予算要求額

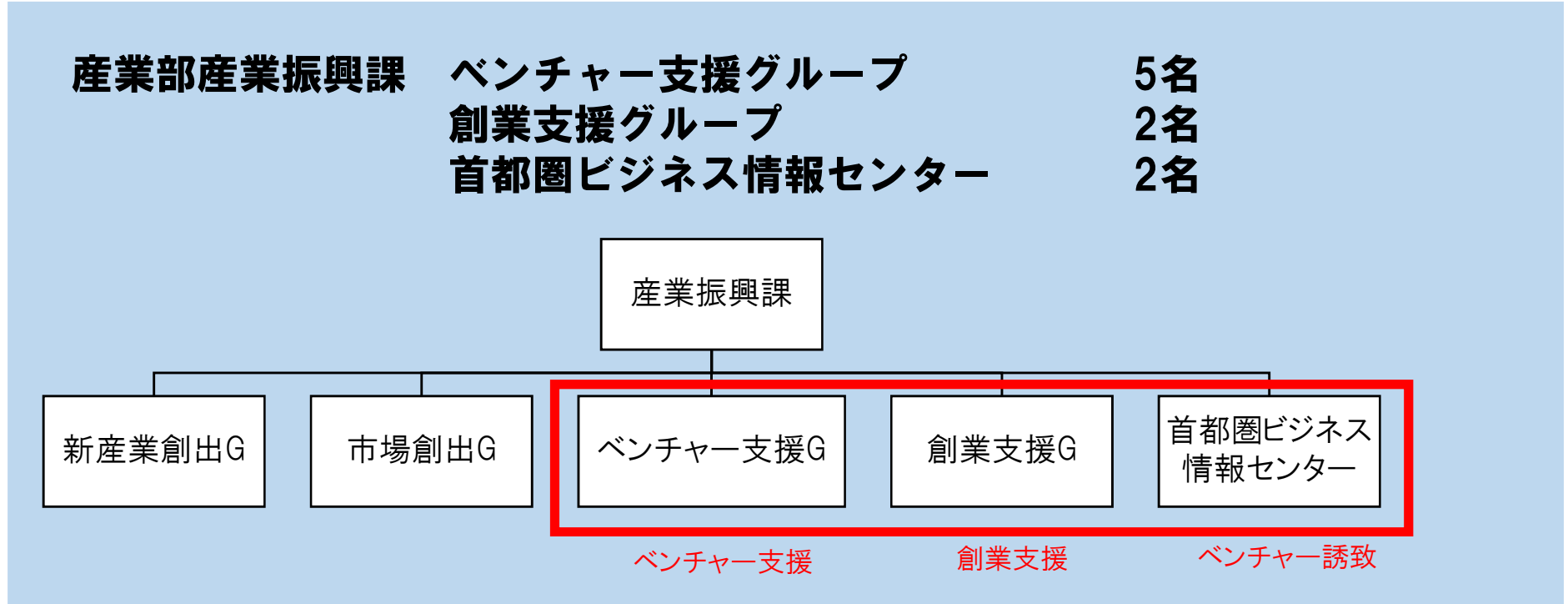
(2) 主な支援事業

区分	事業名	内容
ヒト・技術	ベンチャー経営塾	起業家や経営者を対象に、経営戦略等のノウハウを学ぶ講座を実施。GLOBIS経営大学院大学と連携。
	【新規】ベンチャー企業等DX推進事業	既存ビジネスに対し、デジタル技術の導入を支援し、ベンチャー化を目指す。
モノ	サテライトオフィス整備・運営事業	市内に、スタートアップ向けのオフィスを整備し運営。現在「都市」「浜名湖」「中山間」の3拠点あり。
カネ	ファンドサポート事業	浜松市がVCを認定。そのVCが市内スタートアップに投資した場合、同額を市からスタートアップに、交付金として交付する。 全自治体の中で、オンリーワンの支援制度。
情報	VB応援サイト「HAMACT！」	本市の様々なスタートアップ情報にアクセスできるポータルサイトを運営。 https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/hamact
総合	実証実験サポート事業	全国のスタートアップから実証実験プロジェクトを募集。優れたプランの実施を市が全面的に支援する。
	はままつ起業家カフェ	様々なレベルの創業希望者にワンストップで対応できる総合窓口を設置・運営する。
	【新規】「ものづくり×ベンチャー」によるイノベーション創出促進事業	市内ものづくり企業と全国のスタートアップのマッチングによる、イノベーション創出を目指す。

Ⅱ. 地方自治体の取組

3. スタートアップ支援組織

(1) 担当部局名 担当者数



(2) 支援の顔となる職員

①支援の顔となる職員	: 米村 仁志	関連業務経験年数	4.5年
②支援の顔となる職員 (U-40)	: 山下 裕也	関連業務経験年数	0.5年
	宮崎 信樹	関連業務経験年数	3.5年

Ⅱ. 地方自治体の取組

4. 民間組織との連携 1/2

(1) ベンチャー支援アドバイザー

浜松バレー構想の実現に向けて、本市のスタートアップ支援政策を高度かつ戦略的に実施していくため本市に対して、専門的立場から以下の2人の方に助言指導等をいただいている。

池野 文昭(いけの ふみあき)

Medical Director/Research Associate,
Experimental Interventional Laboratory Division
of Cardiology,
Stanford University (医師)
MedVenture Partners株式会社 取締役チーフメディカル
オフィサー



東 博暢(あずま ひろのぶ)

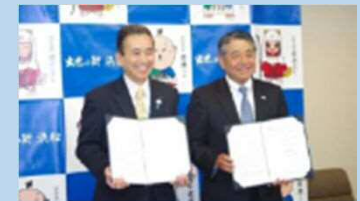
株式会社日本総合研究所 主席研究員



(2) 三井住友銀行とのベンチャー支援に関する連携協定

三井住友銀行との相互協力により、高い成長性が見込まれるスタートアップの支援を通じて、地域経済の持続的発展及び活性化に取り組んでいる。

※Ⅲコンソーシアム(事務局:(株)日本総合研究所)とも連携



(3) (株)ビズリーチとの連携協定

地域産業の持続的発展のため、ビズリーチとの連携により、地域課題(就業支援、専門人材の活用、事業承継、Uターン促進など)の解決に取り組んでいる。



(4) (株)PR TIMESとの連携協定

地域産業の持続的発展のため、PR TIMESとの連携により、市内スタートアップのPR支援(個別相談、セミナー、特別利用プラン、イベントLIVE配信など)に取り組んでいる。



Ⅱ. 地方自治体の取組

4. 民間組織との連携 2/2

(5) 海外ビジネス展開の支援に関する協定

以下の民間企業のネットワークやノウハウを活用することで、市内ベンチャー等の海外ビジネス展開を支援している。

相手機関	締結日
商工中金・静岡銀行・浜松信用金庫	平成25年12月26日
海外投融資情報財団	平成26年3月17日
三井住友海上火災	平成26年9月16日
東京海上日動火災	平成26年10月29日
損保ジャパン日本興亜	平成27年2月6日



(6) はままつスタートアップ

起業を志す人たちのために、地域の産学官金の機関が連携して、起業に必要な知識習得、資金調達、販路開拓支援など、総合的に支援する体制を整備している。

(7) 市職員のベンチャー企業等への派遣研修

- 熱意ある地方創生ベンチャー連合【アソビュー、ランサーズ】 (H28～30)
- 株式会社ビズリーチ (H29～)
- デロイトトーマツベンチャーサポート株式会社 (H30～)
- 株式会社スペースマーケット (H28～29)

Ⅱ. 地方自治体の取組

5. グローバル化への対応

(1) 環境の整備

- 海外政府との覚書締結(**ベトナム**、**インドネシア**、**タイ**)
- 海外ビジネスサポートデスクの設置(**中国**、**インド**、**メキシコ**ほか**13か国21都市**)
- **ドイツチューリンゲン州イエナ**との産業交流協定(スタートアップ支援に範囲拡大予定)
- **杭州市**とのスタートアップ支援に関する連携【予定】



(2) 海外進出支援

- **日本貿易振興機構 浜松貿易情報センター**(平成26年4月設立)と連携した海外進出支援
- ビジネス展開支援に関する民間企業との協定 ※前ページにて説明
- 海外展開事業化可能性調査費補助金…事業化可能性調査の経費を補助(補助率1/2、50万円上限)
- 特許申請等出願費補助金…海外特許の出願に係る経費(先行技術調査費含む)を補助(補助率1/2、50万円上限)

(3) 販路開拓支援

- 海外見本市への出展(Photonics West(**アメリカ**)、COMPAMED(**ドイツ**))など
- ものづくり販路開拓事業費補助金…各種見本市等の出展経費を補助(補助率1/2、50万円上限)



(4) 外国人の創業支援

- **ブラジル**領事館との連携による創業支援

(5) 海外スタートアップの市内における実証実験の支援

- (2019年～)実証実験サポート事業を通じて、**シリコンバレー発の自動運転用コンピュータビジョン技術のスタートアップであるPerceptIn**(日本法人)の市内における実証実験を支援。

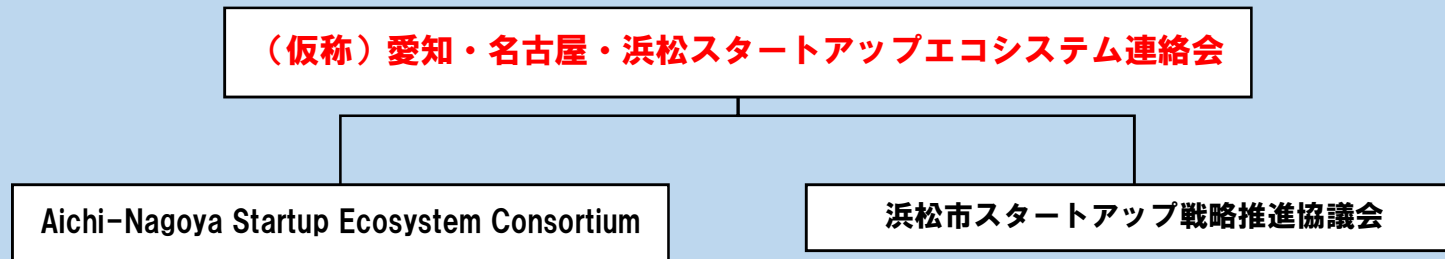


Ⅱ. 地方自治体の取組

6. 他の自治体等との連携 1/2 –他のスタートアップ・エコシステム・コンソーシアムとの連携–

■Aichi-Nagoya Startup Ecosystem Consortium との連携

①エコシステム連絡会の設置



②連携による取り組み

■各拠点におけるスタートアップ支援施設の連携

「なごのキャンパス」「INNOVATOR'S GARAGE」「ステーションAI」「FUSE」「はままつトライアルオフィス」など、各拠点のスタートアップ支援施設において、イベント募集の相互協力、利用者に対する各施設の紹介、通信回線をつないだ複数施設におけるイベントの同時開催、連携によるアクセラレーションの実施など、連携によるスタートアップ支援に取り組む。

■地域企業とスタートアップのマッチング支援

各拠点のピッチイベントやマッチングイベントにおいて、お互いのスタートアップ、中小企業、大企業などが参加し合うことで、スケールメリットを生かした多種多様なオープンイノベーションの場づくりに取り組む。

■グローバル化への対応

各拠点で活躍するスタートアップの海外展開や、海外における起業家教育プログラムへの参加等に関して、連携による支援に取り組む。

今後は、**ランドマークプログラムの誘致**や**大学間の連携強化**なども検討していく。

Ⅱ. 地方自治体の取組

6. 他の自治体等との連携 2/2 -他自治体との連携-

(1) スタートアップ都市推進協議会(事務局:福岡市)

スタートアップ推進に取り組む自治体が連携し、共同事業を実施することにより、各自治体のスタートアップ企業を増やし、地域経済の活性化を目指すとともに、これらの活動を先進的な事例として発表することにより、全国のロールモデルとして日本を変えていくことを目的としている。

■参加自治体：**三重県、広島県、青森市、千葉市、つくば市、日南市、福岡市**、浜松市

■取組内容：マッチングイベントの開催、シンポジウムの開催など



(2) 静岡県との連携

本地域にスタートアップ・エコシステムを形成するため、下記の取り組みを中心に、静岡県と連携していく。

■静岡県と静岡銀行が中心に開催している、**全国のスタートアップと県内企業とのビジネスマッチング”Tech Beat Shizuoka”**への協力(本市ブースの出展、事業後援、情報発信支援など)

■静岡県が(株)リバナスと連携して開催している、**県内大学等の研究者向けのビジネスプランコンテスト”静岡テックプラングランプリ”**への協力(事業後援、情報発信支援など)

(3) 静岡市との連携

静岡市は、現状、スタートアップ支援に特化した取組を行っていないが、本市と同じく、**都内のWeWorkを地域企業の販路開拓支援や企業誘致の拠点として活用**している。**本地域へのスタートアップや高度専門人材の呼び込みなどに向けて静岡市と連携**しながら取り組んでいく。

Ⅱ. 地方自治体の取組

7. 国の施策との連携

(1) 地方創生交付金の活用

■はままつ起業家カフェ運営事業(H26地方創生先行型)

様々なレベルの創業希望者にワンストップで対応できる総合窓口を設置・運営。

《成果》

47人創業

■首都圏ビジネス情報センター運営事業(H28～30地方創生推進)

首都圏におけるスタートアップの誘致や情報発信元となる拠点を設置・運営。

年間約400件の訪問

■ベンチャー集積促進情報発信事業(H30地方創生推進)

ウェブメディアを通じて本市のスタートアップ支援情報を発信。

毎回15000PV以上

■IT人材育成・獲得支援事業(H30地方創生推進)

本市においてIT人材を育成し、スタートアップとマッチング。

34人がスタートアップ等に内定

■ベンチャー経営塾(H31地方創生推進)

GLOBIS経営大学院大学との連携により経営戦略等のノウハウを学ぶ講座を実施。

14人受講

■ベンチャーアドバイザー(H31地方創生推進)

本市に対して、専門的立場からエコシステム形成にむけた助言・指導。

2人に委嘱

■ハッカソン事業(H31地方創生推進)

農業をテーマに「ものづくりハッカソン」を開催。

44人が開発に参加

(2) Top streamプロジェクト(事務局:中部経済産業局)

東海産業競争力協議会が策定した戦略の下、次世代の新事業創出への挑戦を地域全体の大きなムーブメントにするため、企業の発掘、リソースの有効活用、拠点広域活用等に、地域一体で取り組む。

■参加: 中部経済産業局、愛知県、岐阜県、三重県、名古屋市、(一社)中部経済連合会、名古屋商工会議所、中部ニュービジネス協議会、名古屋大学

■内容: 連携会議の開催、企業の発掘、Pitchイベントの開催、セミナーの開催など

Ⅱ. 地方自治体の取組

8. スタートアップ調達

(1) 浜松市発案・提案型官民連携制度～やらまいか！民間発案・提案～

民間事業者から、その保有する資金、経営能力及び技術的能力を活用した、市の事業実施に係る発案・提案を募集するもの。事業化が決定した場合は、提案者に対して「一者特命による随意契約」や「プロポーザル方式による選定において10%を限度とした加点」等のインセンティブが付与される可能性あり。



(2) 内閣府「オープンイノベーションチャレンジ」の積極的活用

内閣府の公募型企画「オープンイノベーションチャレンジ」に本市の地域課題に関わるテーマを提案することで、革新的な技術やアイデアをもつスタートアップ等とのコラボレーションによる地域課題解決や市民生活の質の向上を図る。

2019年には、本市から2件のテーマを提案。そのうち、「**中心市街地におけるムクドリ被害対策**」に関しては、審査の結果、**市内のスタートアップであるパイフオトニクス(株)が認定企業**となった。



Ⅲ. 民間組織の取組

1. 地域で活動するVC、アクセラレーターの取組

(1) VCの取組

①地域で活動するVC

静岡キャピタル(株)、信金キャピタル(株)、ベンチャーラボインベストメント 等

②ファンドサポート事業の認定VC

本市内のスタートアップに投資予定のVC等として、以下の9社を認定

大和企業投資(株)、リアルテックファンド、グローバル・ブレイン(株)、静岡キャピタル(株)、(株)KVP、
栖峰投資ワークス(株)、信金キャピタル(株)、SMBCベンチャーキャピタル(株)、
(株)日本テクノロジーベンチャーパートナーズ

③日本ベンチャーキャピタル協会との連携

2019年10月 同協会主催「地方創生VCTopp懇談会 in 浜松」開催

2020年1月 同協会主催「浜松スタートアップピッチ大会 in 東京」開催、市内スタートアップ9社が登壇



(2) アクセラレーターの取組

①ヤマハアクセラレーター(2017)

ヤマハ(株)×ゼロワンブースターによるコーポレートアクセラレーター

②ベンチャー経営塾(2019～)

浜松市×GLOBISによるスタートアップ経営者育成プログラム

③チャレンジゲート(2013～)

浜松磐田信用金庫主催の先輩経営者等によるアクセラレーション機能を有するビジネスプランコンテスト

④経産省のグローバル起業家育成プログラム「始動Next Innovator」への積極的な挑戦(2015～)

過去5回で、本地域から12人(延べ数)が本プログラムに参加し、うち4人がシリコンバレー派遣プログラムに選出されている。
本プログラムのアルムナイ(卒業生)を中心とするスタートアップのコミュニティが地域に根付いている。

⑤Co-Startup Space & Community「FUSE」(浜松磐田信用金庫)におけるアクセラレーション(2020～)

スタートアップ支援拠点Co-Startup Space & Community「FUSE」において(株)HUB Tokyoによるアクセラレーションを実施。



Ⅲ. 民間組織の取組

2. スタートアップを支援する地域の大企業・中堅企業の取組



(1) スズキ株式会社

- **Plug & Play Japan**に**モビリティ部門のパートナー**として参画。
- Startup Weekend 浜松のゴールドスポンサーとして参画。
- The Garage for Startupsを拠点とし、スタートアップや起業家と交流。
- 農業スタートアップの**(株) エムスクエア・ラボ**と連携し、農業ロボットを共同開発。
- マルチスズキ(インド部門)が**インドのモビリティスタートアップのアクセラレーションプログラムを展開**。



(2) ヤマハ株式会社

- **ヤマハアクセラレーター**(2017年)を実施し、スタートアップ7社の成長を支援。
- 静岡銀行と連携して**TECH BEAT in YAMAHA**(2019年11月)を社内で開催し、スタートアップ9社と交流。



(3) 浜松ホトニクス株式会社

- **光産業創成大学院大学を設立**し、光技術を応用するスタートアップ創出を促進。
- 同社からスタートアップのスピナウトが多数誕生。



(4) 株式会社ソミックマネジメントホールディングス

- 東大発のAIスタートアップである**NABLAS (株)**と協業(2019年10月～)
- 市内センサー技術スタートアップの**ロボセンサー技研 (株)**と協業(2019年12月～)

Ⅲ. 民間組織の取組

3. エコシステムにおけるキーパーソン・インフルエンサーの取組

以下5人のスタートアップ経営者が「Hamamatsu Venture Tribe」を結成。ピッチイベントの開催やスタートアップ情報メディアの発信など、地域のスタートアップコミュニティを盛り上げているとともに、当地域のスタートアップのロールモデルとして、他のスタートアップを牽引している。



J-Startup



NOKIOO™

SPLYZA



Meet up (ピッチ大会)



Startup News



IV. 大学の取組

1. 地域における大学のスタートアップ創出・支援の取組

(1) 静岡大学の取組

大学発スタートアップに対し「インキュベーション施設の提供」、「起業計画のブラッシュアップ」、「資金調達のアドバイス」、「販路開拓サポート」、「静大ファンドの提供」などの支援を実施。現在、**31の当大学発スタートアップ**が活動中。



(株)ブルックマンテクノロジー



(株)ANSeeN



(株)パパラボ



(株)エクサウィザーズ



(株)プログメイト

(2) 浜松医科大学の取組

「はままつ医工連携拠点」の取り組みを通じ、医療や介護の現場の課題やニーズを解決する製品や事業のアイデアの実現性を検証する「医工連携スタートアップ支援事業」を実施。医科大学でありながら大学発スタートアップ支援制度を有し、**(株)プレッパーズ、NanoSuit (株) (株)はままつメディカルソリューションズ**等、当大学発スタートアップが複数生まれている。**(株)プレッパーズとNanoSuit(株)は、JSTの大学発新産業創出プログラム「START」を活用し、起業された。**



(3) 光産業創成大学院大学の取組

「最先端の光技術」から「起業に必要な知識」まで光技術を活用したビジネスに必要な教育プログラムを提供。2019年から、光をテーマとするビジネスプランコンテスト「Photonics Challenge」を開始。当大学からも**30以上のスタートアップ**が生まれている。



パイフォトニクス(株)



(株)ナノプロセス



ジーニアルライト(株)



浜松ナノテクノロジー(株)



(株)里灯都

IV. 大学の取組

2. 地域の大学における起業家教育の取組

(1) 静岡大学の取組

【2018年～】文部科学省「**次世代アントレプレナー育成事業 (EDGE-NEXT)**」の東京大学コンソーシアム「Global Tech EDGE-NEXT」の一環として、**静岡大学EDGE-NEXT事業「起業・ビジネス人材育成ゼミ (アイザワゼミ)」**の講座を開講している。

静岡大学と包括協定を結ぶ藍澤証券による、**学部を超えたゼミ形式の講座**であり、基礎編と発展編に分かれる。起業やビジネスに必要な知識を学ぶだけでなく、**先輩アントレプレナーによる基調講演やビジネスプラン作成演習**も組み込まれ、受講者の**起業意欲の向上に留まらず、起業に必要なスキルを習得できる実践的なプログラム**となっている。



(2) 光産業創成大学院大学の取組

光加工・プロセス、光情報・システム、光エネルギー、光バイオ、光医療・健康などの「最先端の光技術」と「起業に必要な知識」の両面から**光技術の活用によるビジネス創出に必要な教育カリキュラムを提供**している。

2020年からは、同大学が従来から進めてきた光技術応用ビジネス創出支援プログラムとハンズオン支援の取組に、スタンフォード大学発の「バイオデザイン」の手法を加え、**バイオフィotonicsデザイン分野を新設**し、新たな医療機器・バイオ機器産業の創出にチャレンジする人財の育成をめざす。

また、本市と光産業創成大学院大学が連携し、イノベーションの創出や持続的発展のため、自ら考え、課題を設定し、信念を持って事業構想をまとめ上げ、次世代のビジネスを担っていくビジネスプロデューサーの養成講座**「ビジネスプロデューサー養成ラボ」**を開講している。

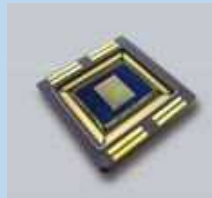


IV. 大学の取組

3. 大学と地方自治体、民間のスタートアップ創出・支援に関する連携 1/2 -産学官金の連携-

(1) 【2002年～2016年】知的クラスター創成事業等を通じた研究シーズのビジネス化

本市は、静岡大学、浜松医科大学、光産業創成大学院大学等と連携し、文科省の「知的クラスター創生事業」や地域イノベーション戦略支援プログラム等の政府プロジェクトを通じて、研究シーズの社会実装に取り組んできた。その成果としてスーパーハイビジョン用8Kセンサを実用化した「ブルックマンテクノロジー」、放射線計測機器を製造・販売する「ANSeeN」、人の目の持つ感度をシステム化した「パパラボ」等の大学発スタートアップが生まれ、多くの研究シーズのビジネス化に成功した。



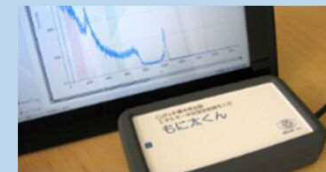
ブルックマンテクノロジーの
8Kイメージセンサ



パパラボの
二次元色彩計



トヨコーのレーザー
塗膜除去装置



ANSeeNの放射線
見える化装置

(2) 【2017年～】地域イノベーション・エコシステム形成プログラム

現在、文科省の「地域イノベーション・エコシステム形成プログラム」の採択を受け、「光の先端都市「浜松」が創成する医療用フォトニクスの新技術」をテーマとし、OpticsとOptronicsを組み合わせた**新しい立体内視鏡と内視鏡機能システム等の開発**に取り組んでいる。

(3) 【2019年～】大学の技術シーズを生かした新事業創出サポート「A-SAP（エイサップ）」

浜松地域イノベーション推進機構を窓口とし、静岡大学、浜松医科大学、光産業創成大学院大学等の大学の技術シーズを活用した新事業創出サポート「A-SAP」を実施。本地域独自の支援スキームであり、**アイデアを持ったスタートアップ等の課題に対し、産学官金連携によるプロジェクトチームを結成して短期集中で解決策を提示**し、成長支援を行う。

(4) 【2018年～】静岡テックプラングランプリ

地域の大学等の**研究者の科学技術やビジネスシーズの発掘**を主目的とするビジネスプランコンテスト。(株)リバネスが主催、ヤマハ、ヤマハ発動機、浜松磐田信用金庫、藍澤証券がパートナーとなり運営。



IV. 大学の取組

3. 大学と地方自治体、民間のスタートアップ創出・支援に関する連携 2/2ー大学同士の連携ー

(1) 【2013年】浜松光宣言の調印

2013年6月、**静岡大学、浜松医科大学、光産業創成大学院大学、浜松ホトニクス株式会社**の4者は、浜松市を光の先端都市にするための「**浜松光宣言2013**」に調印した。

当該宣言では、浜松市のあるべき姿を、「世界トップレベルの光の基礎/応用研究が行われ」、「世界が望む光製品/光技術が開発される」場であると同時に「**これからの光応用産業発展の主役であるベンチャー企業や中小企業が活発に活動する**」場と位置付け、「今後の活動方針」の中に、「**ベンチャー企業等の迅速な動きに対応する支援を行う**」ことを掲げている。



(2) 【2018年～】静岡大学と浜松医科大学による光医工学共同専攻の開設

静岡大学と浜松医科大学は、2018年に**両大学が共同して教育課程を編成・実施する大学院**として**光医工学共同専攻を開設**した。当該専攻課程では、**光・電子工学と光医学を融合**させ、超早期診断、予防医療、低侵襲診断・治療などの医療応用分野における**革新的な医療機器の開発や実用化を担う高度専門人材の育成**を目指す。

光・電子工学と医学に関する専門的知識と医療現場のニーズを学ぶことができるカリキュラムであり、両大学が保有する最先端の実験・検査機器を活用し、研究を行うことが可能である。



(3) 【2018年～】静岡大学と浜松医科大学の統合・再編に向けた取り組み

静岡大学と浜松医科大学は、2018年6月に統合に向けた連携協議会を立ち上げた。**静岡大学浜松キャンパスと浜松医科大学を統合・再編して新大学を誕生させた上で、新しい国立大学法人が2つの大学を運営する構想**であり、最速で、2021年の新法人発足を目指し、準備を行っている。

V. 都市の環境・繋がり の状況

1. 都市の集積・環境の概要

※都市の強みについては「参考資料・PRシート」の「エコシステム形成に向けた本市の強み」(P25～28)で説明

グローバル人材を惹きつける観光資源

- (1)浜松城…徳川家康が17年間過ごした城(復元)
- (2)浜松市楽器博物館…3300点の楽器を所蔵する世界有数の楽器博物館
- (3)エアーパーク…唯一の航空自衛隊広報館
- (4)館山寺温泉…浜名湖を間近に臨む風光明媚な温泉地
- (5)龍潭寺…井伊氏の菩提寺であり、庭園は国指定の名勝
- (6)INNOVATION ROAD…ヤマハの創業以来、現在に至るまでの挑戦の道のりを展示
- (7)うなぎパイファクトリー…浜松名物「うなぎパイ」の生産が間近で見れるアミューズメント施設
- (8)スズキ歴史館…スズキの創業以来の多くの製品と現在のクルマづくりの様子を展示
- (9)本田宗一郎ものづくり伝承館…ホンダを築いた天才エンジニアの足跡に触れる場
- (10)浜松まつり…5月の連休に開かれる、勇壮な凧揚げ合戦が有名な祭り



グローバル人材を惹きつける住環境

- 年間**日照時間**2300時間以上(**全国トップクラス**)
- 健康寿命**が政令市**No.1**
- 政令指定都市**幸福度ランキング2018第1位**((一財)日本総合研究所調べ)
- 多文化共生の先進地**(在留外国人約25000人)



V. 都市の環境・繋がり の状況

2. スタートアップ支援の中心となる施設・場

スタートアップのための総合支援

(1) **Co-Startup Space & Community「FUSE」** ※R2.3オープン予定(浜松市中区鍛冶町100-1)
浜松磐田信用金庫と(株)HUB Tokyoが運営する創業・第二創業、新事業展開を志す方々への伴走支援を行う拠点。約1500㎡の施設内に**コワーキングスペース、ファブスペース、イベントスペース、講座室、カフェ、トライアルキッチン**などの様々な機能を備え、**コミュニティ・ビルダーが常駐するほか、アクセラレータープログラムも充実している。**



起業支援

(2) **はままつ起業家カフェ**(浜松市中区東伊場2-7-1浜松商工会議所会館1F)
本市、浜松商工会議所、浜松地域イノベーション推進機構が共同で設置する**起業・創業に関するワンストップ総合窓口**。起業相談、交流会、セミナーなどを実施。



(3) **イトリエ** ※R2.25オープン予定(浜松市浜北区貴布祢265-8)
浜北商工会が運営する**コワーキングスペース**。3Dプリンタやレーザーカッターなどが利用できる**ファブスペース**やスタートアップが活用できる**事務室**などを備えるとともに、**起業相談、セミナーなどに対応**する。



研究開発型スタートアップの支援

(4) **浜松イノベーションキューブ**(浜松市中区和地山3-1-7)
中小機構が運営する**研究・開発型VBを対象としたインキュベーション施設**。本市は**インキュベーションマネージャーの設置**や入居者に対する賃料補助でサポートしている。



V. 都市の環境・繋がり状況

3. スタートアップや支援者の交流する場



(1)~(4)は市営もしくは市借り上げ
それ以外は民営

(3) 中山間地域トライアルオフィス

(浜松市天竜区二俣町二俣1283-1)
本市が運営するコワーキングスペース。中山間地域のキーパーソンとのコーディネートや創業講座やイベントなどに対応する。

中山間

首都圏（東京）



(4) WeWork丸の内北口

(東京都千代田区)
入居企業や首都圏の支援者との交流を通じて、本市のスタートアップ支援策につなげる。



Dexi
Shift to the future work

浜名湖

都市部



The Garage for Startups



(2) 浜松市舞阪サテライトオフィス

(浜松市西区舞阪町舞阪2701-9)
浜松市が運営するスタートアップを対象としたオフィス。事務室6室のほか、共有スペースを備えており、打ち合わせやイベント開催等で自由に利用できる。



Any
A Nightswai Yard

(1) はままつトライアルオフィス

(浜松市中区鍛冶町100-1)
本市が運営するコワーキングスペース。毎週金曜の夜にピッチ大会や勉強会等を開催するとともに、月1回交流会を開催している。

V. 都市の環境・繋がり状況

4. スタートアップ関連イベントの開催状況

年間イベント100回以上開催！

イベント名	場所	主催者	参加人数
Night PITCH 【毎月第4金曜】	はままつトライアルオフィス	浜松市	約40名
浜松ベンチャー連合意見交換会 【年2回】	市内各所	浜松市	約70名
ハッカソン 【年1回】	市内各所	浜松市	約80名
Startup weekend 浜松 【年2回】	静岡大学浜松キャンパス等	NPO法人Startup Weekend	約30名
Hamamatsu Venture Tribe Meetup 【年3回】	The Garage for Startups等	Hamamatsu Venture Tribe	約60名
CHALLENGE GATE ※ビジネスコンテスト 【年1回】	Fuse (最終報告会)	浜松磐田信用金庫	約100名
Photonics Challenge ※ビジネスコンテスト 【年1回】	プレスタワー (最終報告会)	光産業創生大学院大学	約100名
HIRAI PITCH in HAMAMATSU (R1.6.8)	(株)リンクウィズ	内閣府	約50名
第6回「地方創生VCTopp懇談会」 (R1.10.25)	THE HAMANAKO	(一財)日本ベンチャーキャピタル協会	約70名
浜松ベンチャーフォーラム (R2.1.21)	BPM(東京都渋谷区)	浜松市	約100名
Open Innovation創出のための法務・知財戦略セミナー (R2.2.14)	えんてつ浜松駅前会議室	関東経済産業局	約20名
TECH BEAT Shizuoka 【年1回】	グランシップ静岡(静岡市)	静岡銀行、静岡県	約3300名

※主なイベントのみ

1 エコシステム形成に向けた浜松市の強み

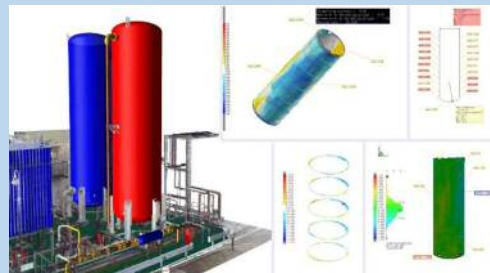
(1) グローバル企業の集積

□ 輸送機器、楽器、光部品、工作機械等、様々な分野の**グローバルに活躍する大企業の本社や研究拠点等が存在**



(2) 高度なものづくり基盤技術や開発技術を有する企業の集積

- **製造業の事業所数4000社以上** ※平成26年経済センサス基礎調査
- 金属部品加工を中心に、**オンリーワンまたは国内屈指の技術力を有する企業が多数存在**
- **3Dモデリング技術**をコアとするソフトウェア企業や、**各種センサや計測機器のメーカーも集積**
- **光技術を応用したセンサや光源を製造する企業**もあり、さまざまな医療機器や計測機器、分析装置等に応用が広がっており、その技術は**ノーベル物理学賞を受賞した学術研究にも貢献**



1 エコシステム形成に向けた浜松市の強み

(3) すぐれた研究・教育機関の存在

- **静岡大学**は、テレビジョンの父である高柳健次郎氏の研究を源流とした**光電子工学に強みを持っており、世界に先駆けてスーパーハイビジョンセンサを実用化する等の実績**がある。
- **浜松医科大学**では、光先端医学教育センターにおいて、**光・電子技術を医療に応用する研究が活発に行われており、また、地域の製造業と連携した、医療機器開発にも積極的**。
- **光産業創成大学院大学**は、**光技術とビジネス・経営を同時に学ぶことができ**、令和2年度からは、医療・バイオ機器産業の創出に挑戦する人財を育成するバイオフィotonクスデザイン分野を始動。
- 上記の3つの大学からは、**大学発スタートアップが合計で60社以上誕生**。



(4) 国内大都市圏及び海外との良好なアクセス

- **東京と大阪まで、それぞれ新幹線で約90分**。
名古屋までは約30分。
- 2本の高速道路(東名・新東名)が市内を走り、三河湾、御前崎港等にも近く、**物流網が良好**。
- **富士山静岡空港や中部国際空港が近く**、海外等とのアクセスもよい。



1 エコシステム形成に向けた浜松市の強み

(5) 豊かな自然・都市環境等を有し、実証実験に最適

- 人口約80万の都市でありながら、北に北遠の山々、東に天竜川、西に浜名湖、南に遠州灘など、**多様な自然環境と都市環境が共存**しており、「**国土縮図型都市**」と呼ばれる。
- 広大な自然・都市環境を抱えるが故、あらゆる都市課題も抱えていることから、本市がフィールドを提供し、実証実験を行うことで、その結果を日本全国の課題解決につなげる**ことが可能。
- 産業も、第一次産業から第三次産業までバランスよく集積。様々な分野の実証実験に対応可能。**
- スタートアップ等と連携した**実証実験の実績も豊富**。
- 令和元年度から**実証実験サポート事業を開始**。全国からスタートアップ等の実証実験プロジェクトを募集し、採択した案件に対し、①実証フィールドの斡旋、②モニター募集の協力、③地域住民や関係機関との仲立ち、④プレスリリース支援、⑤最大200万円の費用補助など、**総合的な支援を実施**。
- 令和元年度実証実験サポート事業では、**5社のスタートアップを採択し、実証実験の支援**を行っている。

国土縮図型都市



各種 実証実験



ドローンによる医薬品運搬の実証実験

浜松自動運転やらまいかプロジェクト



実証実験サポート事業

〈採択企業〉



J-Startup

Triple W



1 エコシステム形成に向けた浜松市の強み

(6) チャレンジ精神に溢れる風土

□本市およびその周辺地域は、ヤマハ、カワイ、トヨタ、スズキ、ヤマハ発動機、ホンダ、浜松ホトニクスなど、**多くのグローバル企業および起業家を輩出してきた、チャレンジ精神（遠州地方の方言で「やらまいか精神」）に溢れる風土。**

□我が国にある政令市20のうち、県庁所在地や3大都市近郊でなく、また国策もなく、独力で成長を遂げたのは本市のみ。

□現在、**市内の小学5～6年生、中学生、高校生を対象に、チャレンジすることの大切さや、起業をより身近に感じてもらえるように、市内の社長を講師（約50名をリストアップ）として派遣している。平成14年から継続して実施しており、近年は、毎年約60回実施している。**

これまでに受講した児童・生徒の合計人数（延べ数）は、75,000人以上にのぼる。



(7) 多文化共生の先進地

□平成31年4月現在、**本市在住の外国人は約2.5万人であり、その8割以上が永住・定住などの長期滞在者**である。特に、ブラジル人の数は自治体別で日本一であり、市内には、**ブラジル総領事館が所在**している。

□本市は、平成25年に「浜松市多文化共生都市ビジョン」を策定し、外国人向けのワンストップ相談窓口である**多文化共生センター**や、**外国人学習支援センター**の設置等の施策により、全国に先駆けて、外国人材が活躍できる多文化共生都市を目指した環境整備を図っている。



1 エコシステム形成に向けた浜松市の強み

(8) 暮らしやすい住環境

ワークライフバランスを重視するワーカーが増えており、**本市の豊かな自然環境は、ゴルフ、キャンプ、マリンスポーツなど様々なレジャー・スポーツを楽しむことができる。**

また、「**幸福度総合ランキング2018**」政令市第1位に選ばれた暮らしやすい住環境も、多くのスタートアップ関係者を惹きつけるアドバンテージとなる。

～浜松に移住してきたスタートアップ経営者のコメント～



(株)こころ
代表取締役
渡邊 一博氏

- ・浜松市は1年通して海が暖かいので、サーフィン移住者が多い
- ・浜松は病院も公園の数も多くて、子育てしやすい
- ・浜松は東海道のど真ん中で江戸時代から人の往来が多かったこともあり、よそ者を受け入れやすい
- ・**浜松は本州最後の楽園だ！**

- ・東京なら3か月しか生き残れなくても、浜松なら半年生き残れるかもしれない。チャンスが2倍になる
- ・オフィスと自宅を近くすることでのメリットが多い。(お昼ごはんを食べに帰る、子供の急病にも対応可能、通勤時間が短い)
- ・**浜松はシニアベンチャーにとって起業しやすい！**



(株)SPLYZA
代表取締役
土井 寛之氏

2 スタートアップの集積について

(1) 市内に拠点を構えるスタートアップの数

75社 ※浜松ベンチャー連合交流会等の本市のスタートアップ関連イベントに出席した企業

(2) 市内に拠点を構えるスタートアップのVC等からの資金調達額

55.3億円 ※過去5年の累計、各企業のプレスリリース等の公開情報から集計

(3) 活発なスタートアップのコミュニティ

本市には、以下の**スタートアップコミュニティが存在し、活発に交流。**

① 浜松ベンチャー連合

- 浜松市が主催し、平成28年から定期的に行っているスタートアップや支援機関の交流会。
- 令和2年2月までに7回開催。毎回、市内外から多くのスタートアップ経営者や起業家が出席。
- 著名なゲストスピーカーによる、スタートアップの成長に資する基調講演などコンテンツも充実。

② Hamamatsu Venture Tribe

- 市内のスタートアップ経営者や起業家の有志が、平成29年に独自に立ち上げたコミュニティ。
- ピッチイベントを定期的に行うなど、精力的に活動。市外の参加者も取り込み、イベントの回数を重ねるごとに、右肩上がりに参加者数が増加。

★上記のいずれのイベントにも、**浜松市長は欠かさず出席**している。



2 スタートアップの集積について

(4) J-Startup企業の集積・連携

□本市には、以下の**2社のJ-Startup企業が拠点を構える。**

①リンクウィズ株式会社

独自の三次元形状処理技術により溶接工程において熟練工を産業ロボットに置き替えること可能にし、製造現場における人手不足という社会課題の解決を図るスタートアップ。

②株式会社エクサウィザーズ

本社は東京都港区。株式会社エクサインテリジェンスとデジタルセンセーション株式会社(本市内スタートアップ)が統合し、誕生。現在も、本市に介護部門の開発拠点を構える。2020年1月時点の**想定時価総額261億円**。※STARTUP DBによる調査結果

□以下のJ-Startup企業との間で、**実証実験の支援等の連携した取り組み**を行っている。

①株式会社ビズリーチ

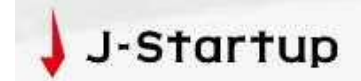
副業人材の活用等に関する連携協定を締結。本市の職員を同社に研修派遣中。

②株式会社Luup

令和元年7月、本市において、電動キックボードのシェアリングの実証実験を実施。

③トリプル・ダブリュー・ジャパン株式会社

令和元年度の本市の実証実験サポート事業の支援先。市内で、排泄予測デバイス「DFree」を活用した医療の質向上を目指す実証実験を実施予定。



3 コンソーシアム参画機関による取り組み ※前掲除く

本コンソーシアムの参画機関は、スタートアップ支援に関する取り組みを幅広く、数多く行ってきた。

(1) ヒト・技術に関する支援

- 各機関による**起業家育成講座**…起業・ビジネス人材育成ゼミ【静大】、大学正課カリキュラム【光産大】、静岡起業スクール【静銀】、はままつスタートアップ創業スクール【浜磐信金】
- 開業スタートアップセミナー**【浜松商議所】…創業初期に必要な知識の提供と、同輩や先輩経営者と交流できるセミナー
- フォトンリングコンソーシアム**【光産大】…光技術関連企業の付加価値ある新商品創りを後押しする組織
- ベンチャー型事業承継の推進**【浜松商議所】…若手後継者の新規事業、業態転換、新市場開拓等を支援
- 相談・コンシェルジュ事業**【イノベ機構】…経営・技術・知財のコーディネーターによる相談対応と課題解決
- 自社製品開発スクール**【イノベ機構】…自社の強みを生かした商品開発につながる講座

自社製品開発スクール



はままつスタートアップ
創業スクール



フォトンリングコンソーシアム
の交流会



(2) モノに関する支援

- 浜松医科大学発スタートアップ支援制度**【浜医大】…大学発スタートアップに学内施設や研究設備の利用開放

3 コンソーシアム参画機関による取り組み ※前掲除く

(3) カネに関する支援

- **地域ファンドの組成・運用**… 静岡キャピタルファンド【静銀】、やらまいかファンド【浜磐信金】
- **スタートアップ資金「スタート」**【浜磐信金】… 低利融資(上限3,000万円)制度とクラウドファンディングの支援

(4) 情報(販路開拓含む)に関する支援

- **TECH BEAT Shizuoka**【静銀】… 首都圏を中心としたスタートアップ企業を静岡に集め、県内の産業活性化と創業機運の醸成を図る、大規模なビジネスマッチングイベントを開催
- **販路開拓・マッチング支援**【イノベ機構】… 市外大手企業等の開発課題を収集し、当該課題を解決できる地域企業とマッチングさせることで、地域企業の販路開拓を支援
- **J-Startupパビリオン**【JETRO】… 海外のスタートアップイベントにブースを設け、国内スタートアップの参加を支援

TECH BEAT Shizuoka



ダイキン工業との個別商談



(5) 総合的な支援

- **がんばる起業応援ネットワーク**【浜磐信金】… 浜松市及び近隣地域の支援機関や大企業による起業支援ネットワーク
- **ビジネスプランコンテスト**… Photonics Challenge【光産大】、しずぎん起業家大賞【静銀】、チャレンジゲート【浜磐信金】
- **アクセラレーションプログラム**… ヤマハアクセラレーター【ヤマハ】、ジェットロ・イノベーション・プログラム等【JETRO】
- **静岡大学発ベンチャー支援制度**【静大】… ①インキュベーション施設提供、②起業計画策定支援、③開業資金・創業融資等の相談、④販路開拓支援、⑤静大ファンド、等の総合的支援

4 KPIを達成するための戦略

浜松市スタートアップ戦略（R2.2策定）から

戦略	取り組み内容
戦略1 スタートアップの創出	<ul style="list-style-type: none"> ■ 起業を後押しする環境の整備 ■ 大学や研究機関の研究シーズの事業化 ■アントレプレナーシップ教育の強化
戦略2 スタートアップの経営力強化	<ul style="list-style-type: none"> ■ 経営に必要なノウハウ等を習得できる場の提供 ■ 経営をはじめとした専門人材の獲得支援 ■ グローバル化・海外展開の支援
戦略3 資金調達環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ■ 制度融資や補助金の充実 ■ スタートアップへの投資の促進 ■ 新たな資金提供者の創出
戦略4 オープンイノベーションの推進	<ul style="list-style-type: none"> ■ スタートアップとのマッチングの場の創出 ■ 拠点、ネットワークの活性化（イベント強化など） ■ 積極的なスタートアップとの連携や先端技術の活用 ■ 試作等の支援
戦略5 スタートアップの誘致	<ul style="list-style-type: none"> ■ 情報発信力の強化 ■ 本市進出の機会づくり ■ 本市に進出するスタートアップがビジネスしやすい環境の整備
戦略6 スタートアップ支援力の強化	<ul style="list-style-type: none"> ■ 支援者のスキル強化 ■ 支援機関の誘致